



SPECIAL 特集 FEATURE

危機介入事例における 人権保護

行政保健師が対応する精神，感染症，虐待などの個別事例では，支援対象との信頼関係の構築が大切である。一方，その関わりが当事者にとって望ましいものでない場合や，ときには危機介入が必要な事例にも遭遇する。そこで，各領域における介入事例から，保健師の判断や対応，組織の支援体制を振り返ると同時に，法律家からみた法的根拠およびその解釈を確認し，保健師の介入が許される理由や，介入がはらむ危険性も含めて，さらなる理解を深める。